



The 23rd Annual Meeting of the Japanese Society for Familial Tumors

第23回

日本家族性腫瘍学会 学術集会

プログラム・抄録集

テーマ

家族性腫瘍の縦糸と横糸を紡ぐ

会期 2017年 8月4日金・5日土

会場 ホテルさっぽろ芸文館

大会長 櫻井 晃洋 札幌医科大学医学部 遺伝医学

副大会長 山下 啓子 北海道大学病院 乳腺外科



The 23rd Annual Meeting of the Japanese Society for Familial Tumors

第23回 日本家族性腫瘍学会 学術集会

プログラム・抄録集

テーマ 家族性腫瘍の縦糸と横糸を紡ぐ

会 期 2017年 8月4日金・5日土

会 場 ホテルさっぽろ芸文館

大会長 櫻井 晃洋 札幌医科大学医学部 遺伝医学

副大会長 山下 啓子 北海道大学病院 乳腺外科

開催概要

メインテーマ：家族性腫瘍の縦糸と横糸を紡ぐ

日時：2017年8月4日（金）、5日（土）

会場：ホテルさっぽろ芸文館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西12丁目

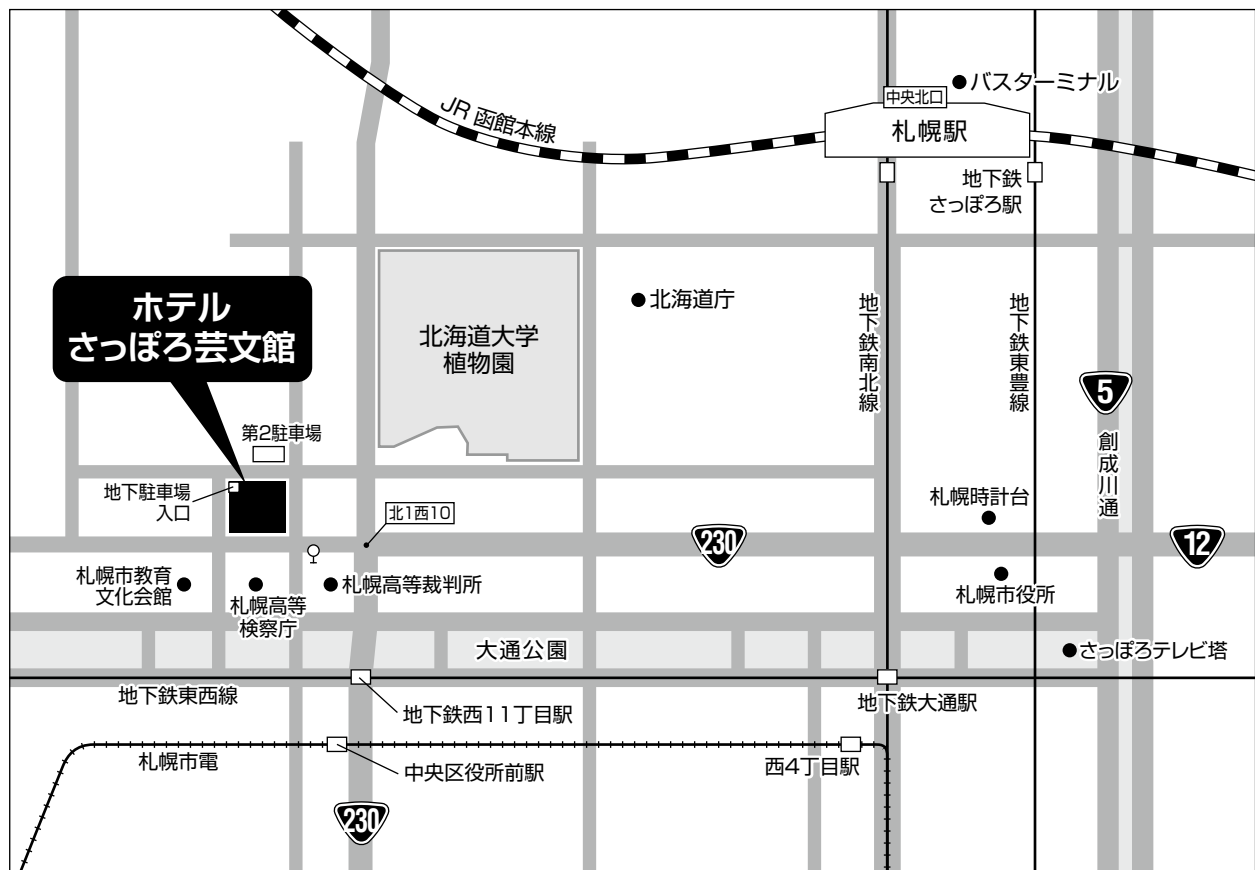
大会長：櫻井 晃洋
札幌医科大学 医学部遺伝医学 教授

副大会長：山下 啓子
北海道大学病院 乳腺外科 教授

学術集会事務局：第23回日本家族性腫瘍学会学術集会 事務局
札幌医科大学 医学部遺伝医学
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL：011-611-2111（内線 27950） FAX：011-688-5354
MAIL：jsft23@sapmed.ac.jp

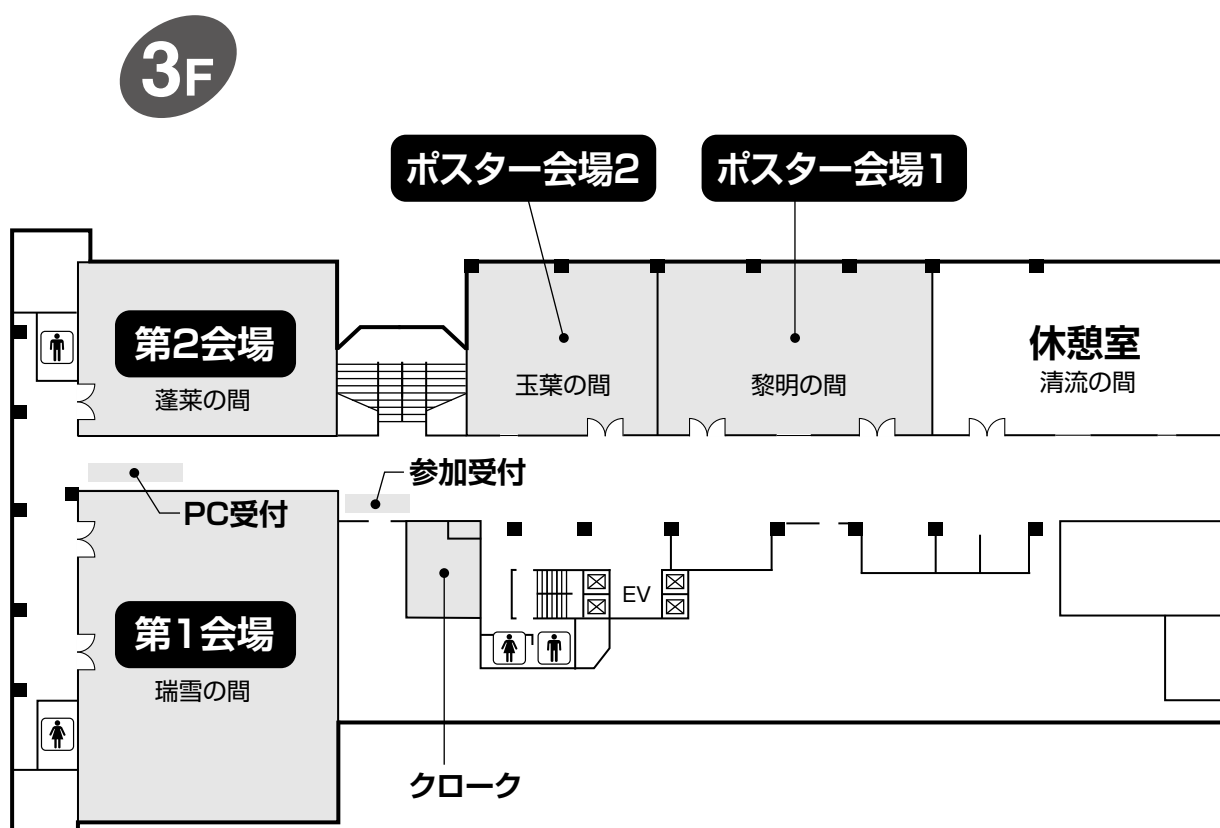
市民公開講座：2017年8月5日（土）15:00～17:00
テーマ 「意外と身近ながんと遺伝
～わかれば防げるがんもある～」

会場周辺図



- タクシー… JR 札幌駅から5分
- 地下鉄… 地下鉄東西線「西11丁目駅」から徒歩5分
- バス… JR 札幌駅前バスターミナルから小樽方面55番 JR 北海道バス又は、中央バスで7分
北1条西12丁目下車

会場案内図



1日目 2017年8月4日金

第1会場 瑞雪の間		第2会場 蓬萊の間	ポスター会場1・2 黎明の間・玉葉の間
8:55	8:55～9:00 大会長あいさつ		
9:00	9:00～10:30 シンポジウム1 遺伝性腫瘍診療における 遺伝学的検査の位置づけ 座長：小杉 眞司、山下 啓子 演者：菅野 康吉、三木 義男 武藤 学	9:00～10:00 一般演題1 HBOC 座長：九富 五郎、山田 崇弘	8:00 ～ 13:00 ポ ス タ ー 掲 示
10:00	10:30～12:00 シンポジウム2 遺伝性腫瘍データベース構築と 共有に向けて 座長：吉田 輝彦、赤木 究 演者：新井 正美、加藤 規弘 奥野 恭史、赤木 究	10:00～11:00 一般演題2 MEN/VHL/LFS/Cowden 座長：田村 智英子、山崎 雅則	
11:00		11:00～12:00 一般演題3 Lynch/FAP 座長：石川 秀樹、中島 健	
12:00	12:10～13:00 ランチョンセミナー1 進行再発トリプルネガティブ 乳がん治療の Up To Date	座長：山下 啓子 演者：井本 滋 共催：アストラゼネカ株式会社	
13:00	13:00～13:30 会員報告会	日本家族性腫瘍学会の現状と将来展望 座長：樋野 興夫 演者：富田 尚裕	13:00 ～ 17:10 ポ ス タ ー 展 示
14:00	13:40～14:00 理事長講演	座長：高木 潤子 演者：Catharina Larsson 共催：JCR ファーマ株式会社	
	14:00～14:50 特別講演 Mapping of multiple endocrine neoplasia type 1 and overview of other heritable endocrine tumors	楕円形の精神 ～遺伝性がんと環境発がん～ 座長：富田 尚裕 演者：樋野 興夫	
15:00	14:50～15:20 Dr. Knudson 追悼講演		
16:00		15:30～16:30 要望演題1 乳癌一般診療の中の HBOC 座長：中村 清吾、高橋 将人	
17:00		16:30～17:00 LFS 部会報告 責任者：田村智英子	
18:00			17:10～18:10 ポスター 討論
	18:30～ 懇親会		

2日目 2017年8月5日(土)

	第 1 会 場 瑞 雪 の 間	第 2 会 場 蓬 萊 の 間	ポスター会場1・2 黎明の間・玉葉の間
9:00	9:00～10:00 優秀演題セッション 座長：櫻井 晃洋	9:00～10:00 一般演題 4 遺伝医療 / 患者支援 他 座長：武田 祐子 吉田 玲子	9:00 ～ 12:50 ポ ス タ ー 展 示
10:00	10:00～11:00 要望演題 2 婦人科遺伝性腫瘍領域における 新展開 座長：青木 大輔 櫻木 範明	10:00～11:00 要望演題 3 家族性前立腺癌 座長：鈴木 和浩 篠原 信雄	
11:00	11:00～12:00 要望演題 4 家族性大腸ポリポーシス・リンチ症候群 座長：石田 秀行 竹政 伊知朗	11:00～12:00 要望演題 5 遺伝性褐色細胞腫 座長：竹越 一博 内野 眞也	
12:00	12:10～13:00 ランチョンセミナー 2 がん微小環境・免疫応答・PARP 阻害； 乳癌薬物療法の新たな波 座長：竹政 伊知朗 演者：佐治 重衡 共催：エーザイ株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー 3 実臨床におけるカプセル内視鏡の有用性 座長：山下 健太郎 演者：菅谷 武史 共催：富士フィルムメディカル株式会社 コヴィディエンジャパン株式会社	
13:00	13:10～14:40 シンポジウム 3 遺伝性腫瘍の診療体制整備 座長：村上 好恵、矢形 寛 演者：村上 好恵、矢形 寛 宇根底 亜希子、安田 有理		13:00 ～ 15:00 ポ ス タ ー 撤 去
14:00	14:40～15:20 FCC 制度（パネルディスカッション） 責任者：田村 和朗		
15:00	15:20～ 閉会・優秀演題表彰	15:00～17:00 市民公開講座 意外と身近ながんと遺伝 ～わかれれば防げるがんもある～	
16:00			
17:00			

プログラム

第1日目 8月4日(金)

第1会場(瑞雪の間)

8:55～9:00 大会長あいさつ 大会長 櫻井 晃洋

9:00～10:30 シンポジウム1

[遺伝性腫瘍診療における遺伝学的検査の位置づけ]

座長：小杉 眞司(京都大学)
山下 啓子(北海道大学)

S1-1 単一遺伝子の遺伝学的検査からマルチジーンパネルへ

菅野 康吉 栃木県立がんセンター研究所 がん遺伝子研究室／がん予防研究室

S1-2 遺伝性乳がん、卵巣がんの遺伝学的検査 ―現状と展望―

三木 義男 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子遺伝分野

S1-3 がんクリニカルシーケンス(OncoPrime)の臨床実装による期待と課題

武藤 学 京都大学 医学部 腫瘍薬物治療学講座

10:30～12:00 シンポジウム2

[遺伝性腫瘍データベース構築と共有に向けて]

座長：吉田 輝彦(国立がん研究センター)
赤木 究(埼玉県立がんセンター)

S2-1 遺伝性乳癌卵巣癌症候群データベースの展望と課題

新井 正美 がん研有明病院 遺伝子診療部

S2-2 臨床ゲノム情報統合データベース整備事業が目指すもの： ゲノム医療を支える統合データベースの構築

加藤 規弘 国立国際医療研究センター メディカルゲノムセンター

S2-3 臨床ゲノム情報のデータベース基盤とAI利活用の展望

奥野 恭史 京都大学 大学院医学研究科

S2-4 日本家族性腫瘍学会におけるゲノムデータベース構築

赤木 究 埼玉県立がんセンター 腫瘍診断・予防科

12:10～13:00 **ランチョンセミナー1**

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：山下 啓子（北海道大学病院）

進行再発トリプルネガティブ乳がん治療の Up To Date

井本 滋 杏林大学病院 乳腺外科 教授

13:00～13:30 **会員報告会**

13:40～14:00 **理事長講演**

座長：樋野 興夫（順天堂大学）

日本家族性腫瘍学会の現状と将来展望

富田 尚裕 兵庫医科大学

14:00～14:50 **特別講演**

共催：JCR ファーマ株式会社

座長：高木 潤子（愛知医科大学）

Mapping of multiple endocrine neoplasia type 1 and overview of other heritable endocrine tumors

Catharina Larsson Department of Oncology-Pathology Medical genetics unit
Karolinska Institutet Stockholm Sweden

14:50～15:20 **Dr. Knudson 追悼講演**

座長：富田 尚裕（兵庫医科大学）

楕円形の精神 ～遺伝性がんと環境発がん～

樋野 興夫 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学

9:00～10:00 一般演題1

[HBOC]

座長：九富 五郎(札幌医科大学)
山田 崇弘(京都大学)

- O1-1** 当院で施行した RRSO47 症例の臨床病理学的検討
野村 秀高 公益財団法人 がん研究会有明病院
- O1-2** 臨床遺伝専門医不在の基幹病院における HBOC 診療体制整備
—HBOC 総合診療制度導入、および遺伝性腫瘍の診療体制構築へ向けて—
石堂 佳世 JA 長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 遺伝診療科
- O1-3** 乳がん患者の家族歴聴取で明らかとなった膀胱がん家族歴の検討
高磯 伸枝 愛知県がんセンター 中央病院
- O1-4** HBOC に関与する既往歴・家族歴聴取の傾向と問題点
井上 慎吾 山梨大学 医学部 第1外科
- O1-5** 遺伝性乳がんにおけるリスク低減乳房切除術の切除範囲に関する解剖学的検討
山内 清明 公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院
- O1-6** 遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)家系員に対する情報提供の現状と課題
杉本 健樹 高知大学医学部附属病院 乳腺センター

10:00～11:00 一般演題2

[MEN/VHL/LFS/Cowden]

座長：田村 智英子(FMC 東京クリニック)
山崎 雅則(信州大学)

- O2-1** 褐色細胞腫は多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)に関連して発生するか
宮腰 隆弘 信州大学医学部 内科学 糖尿病内分泌代謝科
- O2-2** 多発性内分泌腫瘍症2型(MEN2)における甲状腺髄様癌に対する
予防的甲状腺全摘術の検討
木原 実 隈病院 外科
- O2-3** 中枢神経系血管芽腫における VHL 病症例と非 VHL 病症例の違い
—次世代シーケンサを用いた検討—
高柳 俊作 東京大学 医学部 脳神経外科
- O2-4** Li-Fraumeni 症候群サーベイランス構築の取り組み
竹井 淳子 聖路加国際病院 乳腺外科

- P2-10** 温存乳房照射野内に発生した異時性多発 HER-2 陽性局所進行乳癌で TP53 陰性を確認して強度変調放射線で領域リンパ節照射を施行した若年発症乳癌の 1 例
小河 真帆 高知大学医学部附属病院 乳腺センター
- P2-11** BRCA1 遺伝子病的変異陽性の軟骨化生を伴う乳癌の 1 例
山田 玲奈 愛媛大学医学部附属病院 乳腺センター
- P2-12** 遺伝外来開設から現在までの当院における HBOC 診療について
春山 優理恵 亀田総合病院 乳腺外科
- P2-13** 死亡した発端者より遺伝学的検査が可能であった HBOC 科系の 1 例
井手尾 里美 独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター
- P2-14** 当院における HBOC スクリーニング受診者の検討
村上 郁 順天堂大学附属順天堂医院
- P2-15** 家族性腫瘍診療におけるメディカルスタッフの関わり
～臨床心理士の果たす役割～
井上 実穂 四国がんセンター
- P2-16** 院内における家族性腫瘍が疑われる症例の拾い上げ
—看護師対象の家族性腫瘍に関する勉強会開催効果について—
青木 幸恵 地方独立行政法人 栃木県立がんセンター
- P2-17** 千葉県における家族性腫瘍に対する遺伝学的検査と
遺伝カウンセリング体制構築の試み
松下 一之 千葉大学医学部附属病院 検査部
- P2-18** 1 症例から垣間見たアメリカの遺伝子診療の日常
堀口 和美 がん・感染症センター都立駒込病院 外科
- P2-19** 当院における家系図作成時に語られる内容
田中 美香 隈病院 カウンセリングセンター
- P2-20** 任意型検診受診者の問診票を利用した家族性腫瘍の高リスク者の拾い上げ
山田 敦 京都大学医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター
- P2-21** 家族性疾患の診療における診療録の運用について
首藤 茂 医療法人野口記念会 野口病院
- P2-22** 甲状腺・副甲状腺専門病院における遺伝カウンセラーとしての役割
塚谷 延枝 医療法人野口記念会 野口病院 診療記録管理室

- P2-23** 当院における遺伝性腫瘍診療の現状
田代 真理 高知大学医学部附属病院 臨床遺伝診療部
- P2-24** 遺伝情報を看護実践に役立てるためのスタッフ間の連携
河野 沙織 医療法人野口記念会 野口病院
- P2-25** 愛媛大学医学部附属病院における家族性腫瘍の取り組み
尾崎 依里奈 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
- P2-26** 高度食道狭窄を伴う Zollinger-Ellison 症候群に対して内視鏡的ステロイド局注
食道拡張術および膵十二指腸切除術を行なった MEN1 の 1 例
松林 宏行 静岡県立静岡がんセンター がん遺伝外来
- P2-27** Multiple endocrine neoplasia (MEN) の発端者の診断から 1 度近親者の
遺伝カウンセリング受診までの経過期間にかかわる因子の検討
和泉 賢一 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院 遺伝子診療室
- P2-28** 副甲状腺機能亢進症 (両側性) を手術治療後、15 年後に下血により
MEN1 を診断された男性例における家族歴聴取と遺伝カウンセリングの pitfall
大竹 千生 愛知医科大学 医学部 内科学講座 内分泌・代謝内科
- P2-29** MEN2B 診断の現状～特徴的身体所見の重要性
長岡 竜太 日本医科大学 内分泌外科
- P2-30** 『お母さん』が教えてくれた多発性内分泌腫瘍症 2A 型の一家系
～ RET 遺伝学的検査の重要性を再認識する～
檀原 尚典 鳥取市立病院 内科
- P2-31** 多発性内分泌腫瘍症 2 型に対する集学的治療の実践、3 例報告
島 宏彰 札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科

第2日目 8月5日(土)

第1会場(瑞雪の間)

9:00～10:00 優秀演題セッション

座長：櫻井 晃洋(札幌医科大学)

- E1-1** 改訂ベセスダ基準からみた家族性膵癌におけるリンチ症候群
松林 宏行 静岡県立静岡がんセンター がん遺伝外来
- E1-2** 腫瘍組織の Hypermuation を示した大腸癌症例の特徴と Lynch 症候群
浄住 佳美 静岡県立がんセンター
- E1-3** リンチ症候群に伴う大腸発癌においてミスマッチ修復異常は腺腫発生に先行する
関根 茂樹 国立がん研究センター中央病院 病理科
- E1-4** Birt-Hogg-Dube (BHD) 症候群における腎がんおよび全身臓器腫瘍の検討
古屋 充子 横浜市立大学 医学部 分子病理学
- E1-5** 網膜芽細胞腫関連腫瘍に関する検討
鈴木 茂伸 国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科
- E1-6** 多発性内分泌腫瘍症(MEN)2型小児例の診療実態および
甲状腺予防摘出術の現状について / 小児内分泌学会甲状腺委員会全国調査 中間報告
松下 理恵 菊川市立総合病院 小児科

10:00～11:00 要望演題2

[婦人科遺伝性腫瘍領域における新展開]

座長：青木 大輔(慶應義塾大学)
櫻木 範明(北海道大学)

- Y2-1** コンパニオン診断と germline mutation への対応
山田 崇弘 北海道大学病院 臨床遺伝子診療部
- Y2-2** 婦人科腫瘍と遺伝カウンセリング
大瀬戸 久美子 名古屋市立大学病院 臨床遺伝医療部
- Y2-3** 相同組換え修復異常に注目した卵巣癌に対する新しい治療戦略
吉原 弘祐 新潟大学 医学部 産科婦人科学教室
- Y2-4** リスク低減手術と女性 QOL
平沢 晃 慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室

[家族性大腸ポリポーシス・リンチ症候群]

座長：石田 秀行（埼玉医科大学）
竹政 伊知朗（札幌医科大学）

Y4-1 APC 遺伝子に病的変異を認める家族性大腸腺腫症

山口 達郎 がん・感染症センター都立駒込病院

Y4-2 家族性大腸腺腫症に対する術式の選択やサーベイランスの検討

田近 正洋 愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部

Y4-3 リンチ症候群に関するわが国のデータ

田中屋 宏爾 岩国医療センター 外科

Y4-4 リンチ症候群の臨床ゲノムデータベース構築に向けた取り組み

山本 剛 埼玉県立がんセンター 腫瘍診断予防科

12:10～13:00 ランチョンセミナー2

共催：エーザイ株式会社

座長：竹政 伊知朗（札幌医科大学）

がん微小環境・免疫応答・PARP 阻害；乳癌薬物療法の新たな波

佐治 重衡 福島県立医科大学 腫瘍内科学講座 主任教授

13:10～14:40 シンポジウム3

[遺伝性腫瘍の診療体制整備]

座長：村上 好恵（東邦大学）
矢形 寛（埼玉医科大学）

S3-1 遺伝性腫瘍の診療体制整備：それぞれの奮闘努力

村上 好恵 東邦大学 看護学部 がん看護学研究室

S3-2 遺伝性腫瘍を含む包括的遺伝診療体制確立に向けて

矢形 寛 埼玉医科大学総合医療センター プレストケア科

S3-3 地域中核病院における遺伝カウンセリング外来開設までの道のり

宇根底 亜希子 JA 愛知厚生連 江南厚生病院

**S3-4 HBOC 院内診療体制の構築と県内ネットワークの立ち上げ
ーゼロからのスタートー**

安田 有理 石巻赤十字病院 遺伝・臨床研究課

第23回日本家族性腫瘍学会 市民公開講座 プログラム

第2日目 8月5日(土) 15:00～17:00(開場 14:45～)

第2会場(蓬萊の間)

15:00 開会の辞

15:05～ [大腸がんと女性のがん]

座長: 山下 健太郎(札幌医科大学医学部 消化器内科)

寺本 瑞絵(札幌医科大学医学部 産婦人科)

「大腸がんはどうしてできる? 生活習慣? 遺伝? 運が悪かっただけ?」

赤木 究

埼玉県立がんセンター 腫瘍診断・予防科

「家族性・遺伝性乳がんについて知しましょう」

島 宏彰

札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科

「婦人科がんとその予防」

西川 鑑

NTT 東日本 札幌病院 産婦人科

16:05～ 質疑応答

16:10～ [ご自身やご家族のがんのことで心配になったら]

座長: 九富 五郎(札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科)

石川 亜貴(札幌医科大学医学部 遺伝医学/同附属病院 遺伝子診療室)

「遺伝専門外来について」

柴田 有花

北海道大学病院臨床遺伝子診療部 認定遺伝カウンセラー

「遺伝性がんと家族の絆」

太宰 牧子

特定非営利団体活動法人クラヴィスアルクス 代表

土井 悟

ハーモニー・ライン 代表

16:50～ 質疑応答

16:55～ 閉会の辞

共催: 公益財団法人 札幌がんセミナー

厚生労働科研「ゲノム情報を活用した遺伝性乳癌卵巣癌診療の標準化と先制医療実装にむけたエビデンス構築に関する研究」班(研究代表者 櫻井晃洋)

厚生労働科研「多彩な内分泌異常を生じる遺伝性疾患の実態把握と診療標準化の研究」班(研究代表者 櫻井晃洋)

文部科学省 多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン「人と医を紡ぐ北海道がん医療人養成プラン」

抄 録

第23回日本家族性腫瘍学会学術集会
プログラム・抄録集

大会長：櫻井 晃洋

事務局：札幌医科大学医学部 遺伝医学
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL：011-611-2111（内線27950）
FAX：011-688-5354
E-mail：jsft23@sapmed.ac.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>



第23回 日本家族性腫瘍学会学術集会
事務局

札幌医科大学医学部 遺伝医学

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

TEL: 011-611-2111 (内線 27950)

FAX: 011-688-5354

E-mail: jsft23@sapmed.ac.jp